

# なでか広報

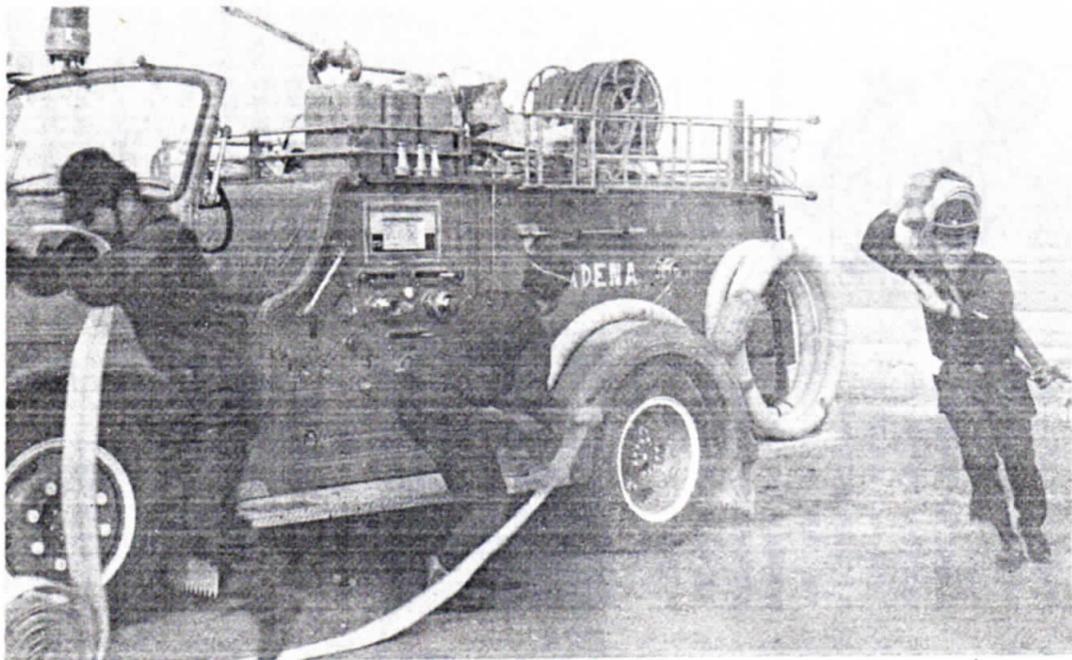
発行所

嘉手納村役場

電話 098976 - 2001・2628

編集

企画経済課 広報係



非常火災時に備えて防火訓練に余念のない村消防隊員

### 10月の人口

区名	世帯数	男子	女子	計
東区	594	1,355	1,339	2,694
上区	473	960	1,030	1,990
中区	438	917	946	1,863
北区	565	1,207	1,181	2,388
南区	632	1,158	1,277	2,435
西区	672	1,477	1,456	2,933
小計	3,374	7,074	7,229	14,303
外人	48	38	48	86
計	3,422	7,112	7,277	14,389

これから冬に向って次第に冷え込んでまいりますと、火がこいしくなり、暖房器具など火を使うことが多くなるとともに空気が乾燥して火災が多く発生します。新聞報道によると、四八年度「消防白書」による全国の出火件数、損害額、死者はいづれも戦後最高を記録していて、出火原因のトップがたばこの火だと報じています。喫煙者はたばこの残り火には充分注意を払うとともに、家族全員が常に「火の元」には気をくばり火災の予防に努めましょう。

//生活の一部にしよう火の点検//

# 新正実施に ご協力下さい

村民の皆様には、これまで新生活運動の趣旨を充分にご理解いただき、諸行事の簡素化等について常に率先してご協力下さっていることに対しまして感謝申し上げます。

さて、嘉手納村新生活運動実践協議会では、先に村内各団体の代表者の皆様にお集まりいただき、「新正一本化」について協議いたしました。その結果来る五十年から新暦一本での正月を全村民が家族本位で実施することを決定しました。

つきましては、貴家におかれましても、このことについてご理解下さいまして是非実践して下さいますようお願い申し上げます。

なお、正月は贈答品を廃止して現金で五〇〇円以内となっておりますので合せてご協力下さい。

嘉手納村新生活運動実践協議会



## — 声 —

「新正一本化」について、村新生活運動実践協議会の構成団体の中から、商工会、自治会、婦人会、学校の代表の方に、それぞれの立場から、この運動に対するお話をきいてみました。

### なじめるまで

### 継続的な運動を

商工会長

波口彦信



「新正一本化」については、商工業者の立場から必要だと思えます。旧と新で中途半端になると商品の仕入れや販売計画が立てられないし、また従業員の休みについても、新正一本にしようとしても旧正は休みにして、旧正は平常どおり営業ができるし、また商工業の経営面からも合理的であり多に賛成です。

盆と正月は、贈答品を廃止にして、現金で五〇〇円以内しようということが決定されておりますが、これは大変結構なこ

### 学習効果が

### あがる

屋良小学校校長

喜世川 可精



新・旧二つの正月のために、学校生活において、生活の二面性を強いられて大変支障をきたしています。すなわち陰暦の旧正面の生活と太陽暦による新正

この「新正一本化」は、以前から何回となく言われてきておりますが、よびかけがにぶくなったり、なくなるもまた元にもどってしまうということがくりかえされておりますが、なじめるまで持続して根強く運動を展開すれば、最近の社会的風潮としては徐々に新正に移行しつつあり、認識も高まっておりますのでそんなにむずかしいことではないと思えます。

学校では、あらゆる行事は勿論、教科においてもすべて新暦によつてすすめられているが、実社会では旧正をやっているというところで子供たちも職員も二重に正月をさせられて、学校の教科課程とは、まったく齟齬(ソゴ)くいちがいがい・ゆきちがいがしたもになっていて、学習効果の面からも大変阻害されています。

新正に一本化されることによつて、教科や学校生活で教えることと家庭や社会の実生活が一元化され、社会の弊風や煩雑なものが整備されて、生活のムダが少なくなる共に子供たちの学習効果の面からも大きなものがあるし、大賛成です。

### 区民の気持は

### 新正に

### 傾いている

### 自治会長会長

### 桑江朝太郎



私の場合は、家が親元になっ  
ていて、沖縄市に親戚が多いん  
ですが、お盆のときは協議会で  
決定されたとおり贈答品は廃止  
し、現金で五百円以内にしよう  
ということ、お互い連絡をと  
りあって実施しました。私の見  
た感じでは大多数の区民の方が  
実施してこの運動は実を結  
びつつあります。

自治会長会でも「新正一本化」  
については、話合っておりませ  
んが各区とも積極的にとりくんで  
行くことを決めており、北区に  
おいては、評議員会やその他機  
会あるごとに区民の方に対して  
よびかけております。  
こういう運動は、上からおし  
つけがましくやるといっているので

なしに、下からの盛り上げを作っ  
ていって、年々効果を上げるよ  
うに指導して行くことが大切な  
ことだと思えます。今年あたり  
は区民の気持は新正に傾いて、  
その盛り上がりが出てきている時期  
だと思われ、大きな効果が期待  
できると思っています。

### ご馳走より

### 雰囲気のある

### お正月

### 村婦人会副会長

### 村山フミ



「新正一本化」については、  
私たち主婦の立場からも諸手を  
あけて賛成です。

これまで新、旧どつちつかず  
で落ち着かないために、新正で  
済んだはずのお正月が旧正にも  
来客があったりしまして、その  
接待などで二重の家事労働を強  
いられ、経費や時間的な面から  
も大きなムダがあります。  
私の隣り近所は農業をなさつ

ている方が多いんですが、農繁  
期(キビの収穫時期が旧正)な  
どの関係で去年あたりから新正  
を実施しています。

子供たちの休みともあわせて  
やれば一家そろって正月ができ  
て、家事も手伝わってもらえるじ  
大変助かります。また、子供た  
ちにとっては旧正というのは教  
育的な立場から考えましても、  
学校生活の実態面とそぐわない  
し奇異に感じているのではない  
でしょうか。

現在では、日常生活の向上  
によつて昔のようにお正月の御  
馳走を山盛り作るというより、  
家の内外をはき清めてお花を生  
けて、すがすがしい雰囲気を出  
してお正月を迎えるというのが  
わが家のお正月です。



### アンケート

## 大多数の村民が新正を希望

## 盆は八五%の実績

「生活の合理化と向上のため  
に、物とお金を大切にしましよ  
う！」をスローガンに実施され  
ております年中諸行事の簡素化  
については、嘉手納村新生活運  
動実践協議会のよびかけで、今  
や村民ぐるみの運動が展開され  
て大きな盛り上がりを見せており  
大いに効果をあげているものと  
思われますが、旧盆明けの九月  
十三日から十九日までの間に、  
村全域から無差別抽選により  
一〇〇名の村民を対象に、別表  
1によりアンケートを実施いた  
しまして、一〇八名の回答を得  
ることができましたのでその結  
果を報告いたします。

A、の実践事項が決定されて  
いることについて

「1、知っている」と答えた  
のが九六、三%で、新生活運  
動実践協議会で決定されてい  
る実践事項の村民への周知徹  
底については、ほぼ叶えられ  
ております。

B、決定事項の金額(祝事一、  
〇〇〇円、葬式一〇〇円、法事  
五〇〇円、盆五〇〇円、正月五  
〇〇円)について

「1、賛成である」が九二、  
五九%でほとんどの方がこの  
額に満足しております。

Q、きめられたことを守りま  
すかについて

「1、守る」が八六、一%  
で断然多く、残りは「3、わ  
からない」が一三、八九%と  
なっておりますが、これは、  
村外に親戚が多いために、こ  
ちらの都合だけでは、この運  
動にふみきれないという事情  
があるという意見の人たちで  
す。

R、これまでの正月の実施につ  
いて、

「2、旧暦」が五七、四一%

で過半数の村民が旧正を祝つて  
いるようでまだまだ永年に  
培われてきた古い習慣からぬ  
けきれないようです。

しかし、「1、新暦」の二  
二・二二％、「3、新旧共」  
が二〇・三七％でこの1、3  
をプラスしてみますと四二・  
五九％となり以前に比べて浸  
透しつつあるのがうかがえま  
す。

E、来年の修正一本化について  
「1、賛成だ」が八二・四一  
％ではほとんどの村民が修正に  
賛成しており「2、反対だ」  
はわずか二・七八％です。「3  
どうでもよい」の一〇・一九  
％は、村の決定に従うという  
消極形で、「4、自由にすべき」  
の四・六三％は各自の都合で  
やるべきだという意見のよう  
です。

F、この運動を進める中心団体  
について

「5、各団体共に一体的に」  
が七九・六三％で、各種団体  
の各階層の方々が一致団結し  
て、村民ぐるみの運動を展開  
すべきだという意見が大部分  
を占めています。

Q、今年の旧盆はきめられたと  
おり実施しましたかについて  
「1、はい」が断然多く、八  
五・一九％という高い率を示

しており、おおかたの村民が  
決定事項(盆五〇〇円)を守  
りこの運動を実践しております。

「2、いいえ」が一四・八  
一％となっておりですが、こ  
れは〇の「3、わからない」  
一三・八九％とやや近い率を  
示してこれら他市町村に  
親戚が多いためだと思われま  
す。

八月一日を期してスタートし  
たこの運動は、去った旧盆にお  
いて八五・一九％という高い実  
践率を示し大きな成果を上げて  
おります。

これは、なんといつても村民  
全体のこの運動に対する賛同  
と積極的な参加が大きな要因と  
なっておりますが、これに加え  
て新生活運動実践協議会の協賛  
団体である商工会、老人クラブ  
自治会、婦人会などのこれまで  
にない積極的な取り組みがあつ  
たこと、特に商工会のご協力は  
見がせないものがあります。

例年は、旧盆や年末には、市場  
商店街、スーパーなどにおいて  
は贈答品が店頭に山と積まれて  
はでな売込み合戦を展開して  
おりましたが、今年の旧盆にお  
いては商工会の会員の方々が自  
しゆくされて、そういうことが

ほとんど見られなかったことは  
特筆されることです。

更に、新生活運動実践協議会  
が村民への周知徹底に例年にな  
く力を入れたことも大きいもの  
があります。各世帯へのチラシ  
やステッカーの配布、目ぬき通  
りへの横断幕の掲示、村広報で  
のPR、各自治会事務所への実  
践事項板の配布等で周知徹底を  
図ったことが上げられると思  
います。

このようにしてこの運動は、  
当初始まつて以来村民各層の一  
致団結により実りつつあります  
旧盆のこの実績をふまえて来年  
は修正を実施してよりよい実績  
を上げると共に、その他の祝事  
や法事、葬式等についても協議  
会の決定事項を守ることによつ  
て、村民一人一人が日常生活の  
中でミエヤムダをなくして新し  
い価値感にめざめ明るく住みよ  
い村民生活を築くために村民が  
一致団結して根強い運動を展開  
しましょう。



アンケート結果

調査項目	回答項目	回答数					割合
		賛成	賛成	賛成	その他	割合	
A 8月1日より実施	1.知っている	69	13	3	10	104	95.1
	2.知らない	2	1		1	4	3.7
	3.賛成である	64	14	3	9	100	95.9
	4.自由にすべき	6			1	7	6.4
B 決定事項について	1.守る	61	13	2	9	95	86.1
	2.守らない	9	1	1	1	12	10.9
	3.どうでもよい	4	8	2	4	18	16.4
	4.自由にすべき	13	4	1	2	20	18.3
C 定められたことについて	1.新暦	46	8	2	4	60	54.4
	2.旧暦	13	4	1	2	20	18.3
	3.新旧共	55	12	3	10	80	72.4
	4.自由にすべき	3				3	2.7
D 正月について	1.新暦	46	8	2	4	60	54.4
	2.旧暦	13	4	1	2	20	18.3
	3.新旧共	55	12	3	10	80	72.4
	4.自由にすべき	3				3	2.7
E 来年の正月は修正で	1.賛成	82	4	1	13	100	91.9
	2.反対	2				2	1.8
	3.どうでもよい	7	2		2	11	10.1
	4.自由にすべき	9				9	8.2
F 中心団体について	1.役場	9	2		4	15	13.9
	2.教育委員会					0	
	3.自治会	1		1	1	3	2.7
	4.婦人会		1			1	0.9
	5.各団体共に	60	11	2	9	82	75.6
G 今年のお盆はきめられたとおり	1.はい	87	13	3	9	112	101.9
	2.いいえ	13	1		1	15	13.9

表 1

諸行事の簡素化についてのアンケート

年齢	性別	男・女	職業
----	----	-----	----

A 諸行事の簡素化について決定事項が決定され3月10日から実施されておりますがあなたはそれをどう感じますか。

1.知っている	2.知らない
---------	--------

B 決定事項(金額等)についてどう思いますか。

1.賛成である	2.反対だ	3.どうでもよい	4.自由にすべきだ
---------	-------	----------	-----------

C あなたは、定められたことを守りますか。

1.守る	2.守らない	3.わからない
------	--------	---------

D あなたの家庭では、これまで正月は新・旧どちらで祝っていますか。

1.新暦	2.旧暦	3.新旧共
------	------	-------

E 来年から正月は新暦で祝うことが決定されましたが、あなたはそのことについてどう思いますか。

1.賛成だ	2.反対だ	3.どうでもよい	4.自由にすべきだ
-------	-------	----------	-----------

F 諸行事の簡素化についての運動はどの団体を中心となれば継続したものとして成功するとお考えでしょうか。

1.村役場	2.教育委員会	3.自治会	4.婦人会	5.各団体共に一体的に
-------	---------	-------	-------	-------------

G 今年のお盆は、定められた通りに行ないましたか。

1.はい	2.いいえ
------	-------

旧習を打破することは、なまやさしいことではない。「新正一本化」が叫ばれてから久しいが、各種の啓発運動と同様、車なるかけ声だけに終わって来たのはどうしたことか。新正がよいか旧正がよいか、これが簡単に割り切れないうところの問題があった。新正一本化運動は、その効果は別としても、それなりに意義はある。その合理性も一般住民の認めるところである。だがそれよりも長年やってきた旧正の方が、習慣や生活感情あるいは農村での農作物の収穫などその関係で、より合理的だと受けとられているところだ。新正一本化が実現しない理由があるのだから。これから考えると、やはり旧習を打破する意志があるかどうか、その必要性を認めさせるだけの強い指導力が要求される。

ていくということにあると思うが、それがおしつけがましい官製運動でもあろうものなら、個々の実生活にも結びつかないものとなり、結局は見せかけの運動となって逆効果をまねくことにならう。この種の運動は地域社会の中から自然発生的に起こるべきであり、画一的に押しつけられるものではない。したがってまず身

ういう時こそみんなが生活のチエを働かすべきで、ミエや世間テイをこの際いさぎよくかなぐり捨てねばならない。家族本位の楽しい正月を理想とした。

新聞報道によれば、県民の間で親しまれてきた泡盛がビールやウイスキーなどに押されて伸びなやみ、復帰後はむしろ減少傾向にあるという。

いざん華美に流れているのが結婚披露宴である。神前で若い二人が将来を誓いあい、新しい人生の門出を祝うことは喜ばしいことであり、大いに祝賀してやるべきであるが、めでたいということから派生して、結婚の披露宴まで華美を競い合うことが風習化している。結婚式は厳粛な儀式であり、お祭り騒ぎではない。

い人々の下から盛り上がる啓発運動によって遂次、改善されていかねばならない。

師走の街は、どこもかしこも、にわかづくめの活気にあふれてくる。表面は盛んな生活意欲のゆたかな暮らしを物語っているにも見えるが、一方では益も正月もない貧にあえく人々もいる。本土復帰はしたものの社会保障制度もまだ充実されていない半面、外観だけの基地依存繁栄にあぐらをかく生活態度もかなぐり捨てねばならないと思うが無理な注文だろうか。

明るく住みよい環境づくりはみんなが社会の一員としての連帯感を持ち、まづわが家をそして地域社会を明るくするのがその第一歩であることを忘れてはならない。今後も存続すべきうるわしい風習はさておき、日本国民としてそくわない弊風は、みんなて改善していかねばならない。そのためにも新正一本化運動も天下一りの運動でなしに、自治会婦人会、青年会などが中心となって自発的に盛り上がることを期待したい。

さらば！ 旧正よ  
(西区 山人端立清)

# 私の主張

## 新生活運動に思う



近々人々が協力しあって手帳に実行できる事柄を中心に納得すくで推進していかねばならない。

あたたまる年に  
炭と昆布節で  
心から容若くなゆさ  
おじいさんが奏でる三味線の音を聞きながら兄弟同志で泡盛をくみかわし、庭では孫たちが手まり、たこあげに興じたのどかな正月風けいはもう帰らない。

堅実な将来の生活を設計するためにあまりハデな結婚式は考えものだ。年も明けると生年祝いもおっつけてやってくるが、招客の多数が飲み食いするばかりが祝いごとではなからう。この際もろもろの祝宴のあり方も再検討されるべきである。新しい時代に即応しない古いしきたりは、若

村の新生活運動実践協議会が主体になって「新正一本化」をめざし、例年になく強力な生活合理化運動を浸透させたとして、もちろん運動のねらいは、われわれの日常生活から一切のムダをなくし

総需要抑制や金融引き締めの影響で不況の波はますます輪を広げるだけである。物価高騰、企業倒産、失業問題一われわれをとりまく情勢はきびしく深刻なものがある。こ

新生活運動とは裏はらに、

— 共同募金 —  
**ご協力ありがとうございました**  
 ございました

昭和 49 年度赤い羽根共同募金実績報告書

1. 各種別募金実績 (期間 S49.10.1~31)

種別	目標額	実績額	達成率	備考
戸別	496,350円	436,110円	87%	
大口	120,000円	364,000円	303	
職域	102,650円	23,740円	23.1	
計	719,000円	1,037,510円	14.4	

2. 戸別募金実績内訳

区別	目標額	実績額	達成率	備考
東区	85,350円	76,900円	90	
上区	68,100円	61,950円	90	
中区	65,550円	66,400円	101	
北区	82,650円	73,350円	88	
南区	92,700円	76,810円	82	
西区	102,000円	80,700円	79	
計	496,350円	436,110円	87	

**みんなそろって  
 明るいお正月を**

歳末たすけあい  
 みんなの協力で  
 築く明るい社会

異状なインフレで住民の生活  
 が大きくおびやかされている時  
 社会の底辺で貧しい生活をよき  
 なくされていく人々の生活はさ  
 らにきびしいものがあります。  
 歳末の時期に当たり、これら  
 の人たちが、そろって明るい正  
 月を迎えられるよう募金運動が  
 実施されますので村民のご協力  
 をお願い申し上げます。

昭和四十九年十二月一日  
 嘉手納村社会福祉協議会  
 会長 古謝 得善  
 記  
 一、期間 十二月一日〜三十一日  
 二、受付 村厚生課(中央公民館  
 内・電話一四四八九)

郵便局からのお願い

木製の古くなった表札は、雨  
 にぬれると読みにくくなります  
 から、新しいものと取り替え、  
 字名、番地、および家族全員の  
 名前をはっきりとわかりやすく  
 お書き下さい。  
 また、郵便物がぬれたり、よご  
 れたりしますので、受箱を設置  
 して下さい。郵便受箱は、最近  
 郵便物が大型化していますから

わかりやすい表札と  
 大型の郵便箱を!!

できるだけ大きなものをお備え  
 下さい。  
 ◎受箱は、郵便局でも取次ぎし  
 ますからご連絡下さい。  
 郵便番号は、住所の一部です  
 手紙、小包をお出しの際は、  
 忘れずに必ずお書き下さい。

商工会だより

新年会

村役場と村商工会共催による  
 新年会を下記により開催いたし  
 ます。  
 村民をお始め、村内に職場や事  
 業所を持っている方々等どなた  
 でもお気軽にご参加いただくこ  
 とになっておりますので、あな  
 たもぜひおいで下さい。

記  
 一、とき 昭和五十年一月三日  
 午後四時〜六時  
 二、ところ 嘉手納中央公民館  
 (大ホール)  
 三、会費 五〇〇円

定休日について

第四日曜日を定休日と決め実施  
 しておりますので、村民皆様の  
 商工会では十一月から、第二  
 ご協力をお願いいたします。